

寒波による水道管の凍結・破裂状況について

1 概況

昭和52年以来の記録的な寒波により、1月23日(土)の深夜から25日(月)にかけて氷点下となり、宅地内水道管の凍結や破裂の被害が発生した。

○問い合わせ状況 (単位：件)

	23日 (土)	24日 (日)	25日 (月)	26日 (火)	27日 (水)	28日 (木)	29日 (金)	合計
平均気温	3.1℃	-2.7℃	0.4℃	3.6℃	7.4℃	7.3℃	10.2℃	—
最低気温	-0.4℃	-4.6℃	-2.5℃	1.6℃	4.2℃	5.9℃	8.1℃	—
凍結	—	286	507	245	126	70	32	1,266
破裂	—	14	1,332	1,324	1,363	330	96	4,459
合計	—	300	1,839	1,569	1,489	400	128	5,725

※ 凍結とは、水道管が凍結して水が出ない場合の対応等の問い合わせ。

※ 破裂とは、水道管が破損して漏水している場合の対応等の問い合わせ。

○本市給水区域の1日当たり配水量 (単位：m³/日)

	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日
配水量	29万	30万	46万	40万	36万	33万	32万

2 局の対応状況

(1) 市民への寒波対策の周知

- 市のHPや市政だより(12月15日号)に「寒波対策について」掲載。
- FMラジオを通じて「水道の凍結にご注意を」を広報。
- 報道機関に「水道管の寒波対策についての報道のお願い」の情報を提供し、夕方のTVニュースや翌日の朝刊で多数報道。
- 市内全域に対して、広報車による「寒波対策について」の広報活動を実施。(寒くなる12月に1回と寒波直前に1回)

(2) 寒波対応に対する体制(高台配水池の緊急断水は除く)

- 本庁、東西工事事務所、お客さまセンター等に人員を配置し、市民からの問い合わせ、報道対応、路線巡視、現地確認、漏水調査、緊急止水等を実施。
- 水道工事センター(緊急業者)を配置し、漏水修繕や止水のために現地派遣。
- 北九州管工事協同組合やその他の指定給水装置工事事業者を修理業者として紹介。

3 高台配水池の緊急断水

(1) 概要

八幡東区清田地区など高台の住宅地に配水している大蔵配水池(約10,000戸)と花尾配水池(約3,000戸)において、宅地内漏水が多発したことなどが原因で配水池の水位が急激に低下した。このため、両配水池の給水区域全域の断水が避けられないことが推定されたことから、約3割の世帯において緊急に断水を実施した。

なお、本市では、断水を避けるため、各家庭に複数の配水池から給水できるよう対策を講じている。しかし、大蔵配水池、花尾配水池は周辺に応援できる高い配水池がないことから水融通できなかつたため、断水を避けられなかつたもの。

(2) 断水状況

- 合計3,930戸(断水戸数、断水時間は下表のとおり。)
- 応急給水箇所(16箇所)に給水車を出動するとともに巡回車4台で、高齢者など沿線住民に給水袋を配布するなど、きめ細かな応急給水活動を実施。

配水系統	住所	断水戸数	25日(月)		26日(火)		27日(水)			
			17時	20時	8時	11時	4時	14時	17時	
大蔵	八幡東区山路一丁目他	300	●	→						
	八幡東区清田一丁目他	1,460	●	→						
	八幡東区日の出一丁目他	800		●	→					
	戸畑区西大谷二丁目	500		●	→					
花尾	八幡東区花尾町他	150			●	→				
	八幡西区元城町他	150			●	→				
	八幡西区别当町	570				●	→			
合計		3,930	1,760	3,060	3,060	2,170	870	570	—	

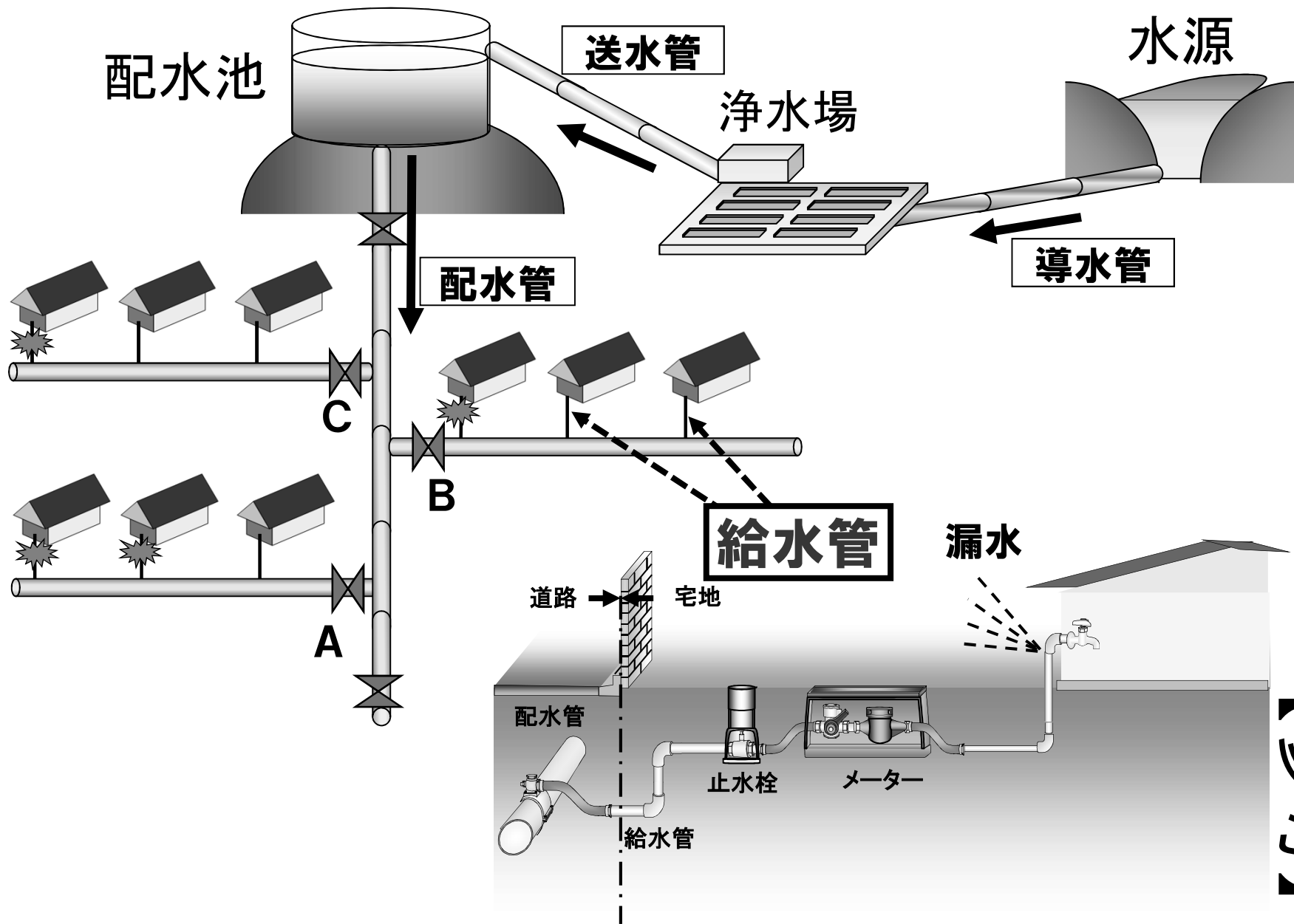
4 今後の対応

(1) 当面の対応

- 宅地内水道管で漏水修理が完了していない箇所の早期修繕。
- 空き家を中心に漏水の有無を確認。漏水を発見した場合、応急措置として止水を実施。

(2) 将来的な対応

- 広報誌「くらしの中の上下水道」や市政だよりなどを活用した効果的なPRの実施。
- 宅地内水道管の実態調査の検討。



【参考】